


ひがしなり企業区民連携フォーラム（ひがしなりソケット）		取組開始時期	設置時期 平成30年4月	取組の カテゴリ	地域活性化
1. 団体名	大阪市	2. 連携先の 団体	中小企業（製造業等）、社会福祉法人、NPO法人、介護事業者		
3. 取組 目的	中小企業等が、企業相互や地域住民との連携により自律的にSDGsに取り組むことができる体制を構築するためのセミナーやワークショップを実施し、企業等のSDGs対応能力を高める。			4. 関連する ゴール	

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）	
<p>○運営者：大阪市東成区役所及び参加企業等</p> <p>○参加者の概要：地域と連携や、SDGsへの貢献等のCSR/CSV活動に意欲的な企業やNPO法人等</p> <p>○取組内容 地域団体等と情報交換及び「SDGs推進力」の向上に資するためのセミナーやワークショップの実施（「ひがしなりソケットLAB.」）、またそのアウトプットとして、企業等が自らのリソースで実施するプロジェクトを支援する。</p> <p>○目指している成果 企業等がSDGsへの取り組みを通じて自らの社会的価値を向上させることで、当区企業全体のブランディングにつなげるとともに、当区における持続可能なまちづくりに資するものとなること。</p> <p>○今後の活動予定等 令和2年11月19日「ひがしなりソケットLAB.」第1回 令和2年12月10日「ひがしなりソケットLAB.」第2回 令和3年1月22日「ひがしなりソケットLAB.」第3回 令和3年2月18日「ひがしなりソケットLAB.」第4回 令和3年3月6日「ひがしなりソケットLAB.」成果発表会</p>	

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

東成区は戦前から続く金属加工業を中心とした製造業者が多く、日本有数の集積地となっている。これらの企業は地域社会とのつながりが強く、SDGsへの貢献ポテンシャルは高い一方で、自らのリソースをSDGsに生かすノウハウは不足している。
これらの企業の強みを発揮できる仕組みづくりを支援する。

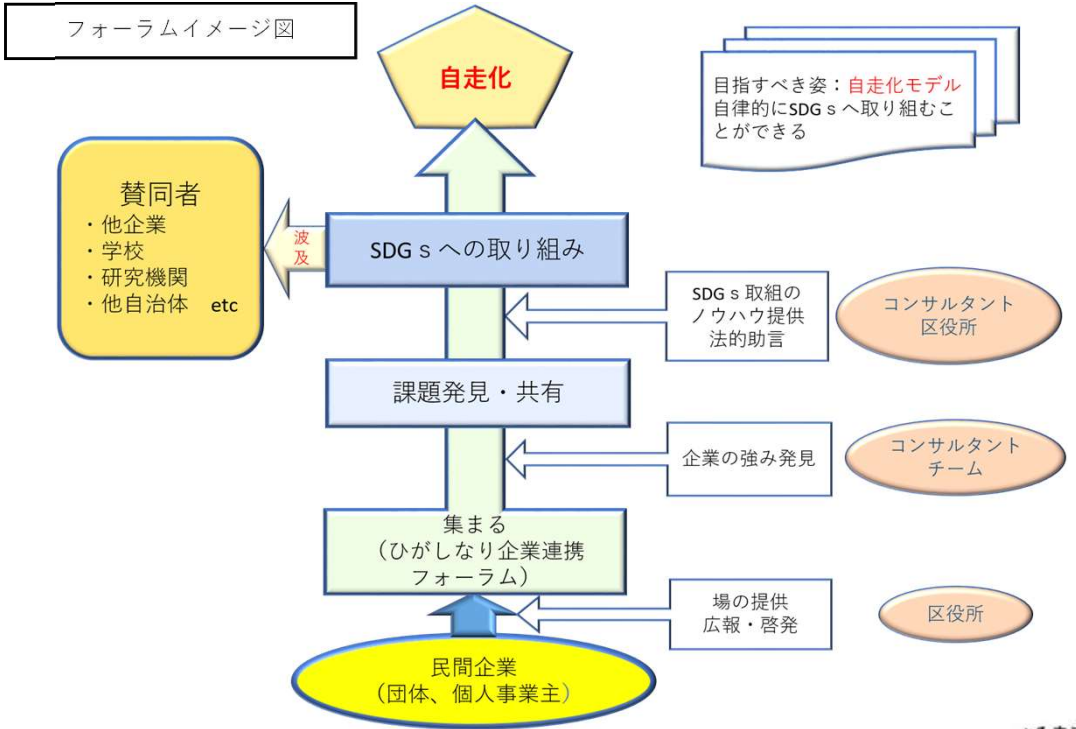
ステークホルダーとの連携

（自由記述欄に記載）

モデル性・波及性

SDGsの取組への意欲はあるものの、経験やノウハウに乏しい地域のステークホルダーに対して、プロジェクトの企画・運営に関するキャパシティビルディング（能力構築）を行い、自律的にSDGsへ取り組むことを目指した事業モデルを作りだしている。

自由記述欄



▲令和2年2月8日 「ひがしなりソケットLAB.」成果発表会

▼「ひがしなりソケットLAB.(ラボ)」でのワークショップ



▲「ひがしなりソケット」ロゴ



▲令和元年6月23日 「KICK OFF!ひがしなりソケット」の様子

○関連URL <https://higashinari-socket.com/#about>

(HP「ひがしなりソケット」)